岐阜女子大学

文化創造学科　初等教育学専攻（子ども発達専修・学校教育専修）「資格取得」のための手引き（大学での取得資格）

	資格	資格概要・本専攻で育てる人材	取得方法	タイムスケジュール ⇔授業　⇔実習・体験学習　⇔対策講座	カリキュラム（単位）	試験	費用	就職先	学生の様子
子ども発達専修	保育士 （子ども発達専修のみ）	保育所などで就学前の乳幼児を保育するために必要な国家資格です。保育所をはじめ、児童福祉施設に勤めることができます。乳幼児の相談や子育て支援の担い手として期待されている職業でもあります。 ＊保育の技能と確かな子ども観・保育観をもった保育者を育てています。 ＊自然とふれあい、音楽活動の充実により感性を磨き、表現力豊かな人材育成を特色としています。	児童福祉法施行規則に定める「保育の本質・目的に関する科目（13単位）（本学は14単位）」、「保育の対象の理解に関する科目（12単位）（本学は14単位）」、「保育の内容・方法に関する科目（14単位）（本学は22単位）」、「保育の表現技術（4単位）（本学は8単位）」を履修するとともに、本専修を卒業することで資格を取得することができます。	1年 前期 後期 / 2年 前期 後期 / 3年 前期 後期 / 4年 前期 後期 幼稚園・保育所体験学習 保育実習Ⅰ・Ⅱ 保育実習Ⅲまたは Ⅳ・幼稚園実習 試験 資格取得・卒業 実技指導 インターンシップ 筆記対策講座 面接指導	・「保育の本質・目的に関する科目（14単位）」 保育原理、教育原理、保育者論　など ・「保育の対象の理解に関する科目（14単位）」 保育の心理学Ⅰ、子どもの保健Ⅰ、家庭支援論など ・「保育の内容・方法の理解に関する科目（22単位）」 保育課程論、保育内容、乳児保育演習　など ・「保育の表現技術（8単位）」 音楽基礎、図画工作基礎、身体表現基礎　など ・「保育実習Ⅰ・Ⅱ（必須）、Ⅲ・Ⅳ（どちらか選択）」、「保育実習指導」 ・「総合演習（2単位）」 保育実践演習	・資格取得のための試験はありません。 ・就職に際し、公立の保育所は各自治体の試験、私立の保育所は各保育所の試験を受けます。	実習費 1回20,000円 3回実習を行う 保育士登録料 4,200円	・公、私立の保育所 ・児童館 ・児童養護施設 ・肢体不自由児施設 ・知的障害児施設 ・盲ろうあ児施設 ・重症心身障害児施設 ・児童自立支援施設 ・託児所　など	
子ども発達専修・学校教育専修　共通	幼稚園教諭 一種免許状	公立、私立の幼稚園で教員として働くために必要な免許です。現在では、幼児に対する直接的な教育だけにとどまらず、地域に開かれた幼稚園、子育て支援などの多様な保育ニーズに応える役割も担うことも求められています。 ＊幼・保両面からの学びで専門性を高めるとともに、小学校教育の学びも修得し、人間成長発達過程を見通し幼児教育を創造していく人材を育成しています。	文科省が定めている幼稚園一種免許状取得に必要な単位を取得します。 ・「教科に関する科目（6単位）」、「教職に関する科目（35単位）（本学は37単位）」、教科または教職に関する科目（10単位）」を履修し、本学卒業に必要な単位が必要です。	1年 前期 後期 / 2年 前期 後期 / 3年 前期 後期 / 4年 前期 後期 / 院Ⅰ 前期 後期 幼稚園体験学習 幼稚園実習 試験 免許取得・卒業 実技指導 インターンシップ 筆記対策講座 面接指導	・「教科に関する科目（6単位）」 国語基礎、生活基礎、音楽基礎　など ・「教職に関する科目（37単位）」 教師論、教育原理、教育心理学　など ・「教科または教職に関する科目（10単位）」 人権教育	・就職に際し、公立の幼稚園は各自治体の試験、私立の幼稚園は各幼稚園の試験を受けます。	実習費 29,000円 申請費 3,000円	・公立、私立の幼稚園 【卒業生の就職例】 高山市、高岡市、新潟市、彦根市	
	幼稚園教諭 専修免許状 （大学院のみ）	一種免許状の要件に加え、大学院で一定数以上取得する必要があります。 ＊「高度な専門性を持つ実践的な教員」の養成を行っています。	本学独自の4年次からの大学院科目早期履修制度を活用することで、大学4年間と大学院1年間で専修免許状を取得することができます。	大学院科目早期履修 試験　試験 免許取得・卒業	文科省が定めている幼稚園一種免許状の要件に加え、教科又は教職に関する科目を24単位取得します。				
	小学校教諭 一種免許状	公立・私立の小学校の教員として働くために必要な免許状です。 ＊自らの人間性を磨くこと、理論と実践との往還を図り実践力をもった人材を育成しています。 ＊独自の教員養成プログラム「EGGプラン」を策定し、在学4年間の学習と現場体験とを計画的に行い、幼時期からの教育に精通し対応できる人材の育成にあたっています。	文科省が定めている小学校一種免許状取得に必要な単位を修得します。 ・小学校教育実習　（本専攻では4週間） ・介護等体験学習 7日間 ※教育実習は、本学連携協定の山県市か、出身の地元で行うかどちらかを選択します。介護体験の施設場所は県の割り振りに従って、決めます。	1年 前期 後期 / 2年 前期 後期 / 3年 前期 後期 / 4年 前期 後期 / 院Ⅰ 前期 後期 小学校体験学習 小学校実習 試験 免許取得・卒業 実技指導 インターンシップ 筆記対策講座 面接指導	文科省が定めている小学校一種免許状取得に必要な単位を取得します。 ・「教科に関する科目（8単位）」 国語基礎、算数基礎、社会基礎　など ・「教職に関する科目（41単位）（本学は45単位）」 教師論、教育原理、初等教科教育法（国語）など ・「教科または教職に関する科目（10単位）」 人権教育	就職に際し、それぞれの自治体が実施する「教員採用試験」を受験します。 一次試験7月 二次試験8月 大都市は学校推薦枠を採っていて、学校からの推薦者は一次試験免除となっています。	実習費 20,000円 ※出身地実習と山県市内学校実習で費用は異なる	・各県の小学校教諭 ・教育に関わる企業 ・塾講師 【卒業生の就職先】 岐阜県、愛知県、静岡県、富山県、滋賀県、千葉県、横浜市、石川県	
	小学校教諭 専修免許状 （大学院のみ）	一種免許状の要件に加え、大学院で一定数以上取得する必要があります。 ＊「高度な専門性を持つ実践的な教員」の養成を行っています。	本学独自の4年次からの大学院科目早期履修制度を活用することで、大学4年間と大学院1年間で専修免許状を取得することができます。	大学院科目早期履修 試験　試験 免許取得・卒業	文科省が定めている小学校一種免許状の要件に加え、教科又は教職に関する科目を24単位取得します。				
学校教育専修	中等学校教諭 一種免許状 （国語・英語） 高等学校教諭 一種免許状 （国語・英語・書道・情報）	公立・私立の中・高等学校の教員として働くために必要な免許状です。 ＊学校教育の基礎である小学校教育の教員養成に力点を置き、さらに連続した発達段階を見据え、中・高等学校での指導力を身につけることができるようにしています。 ＊各教科（国語・英語・書道・情報）の専門性をより高めています。	文科省が定めている中・高等学校一種免許状取得に必要な単位（右欄参照）を修得します。 ・中・高等学校教育実習 （本専攻ではどちらか2週間） ・介護等体験学習 7日間（高等学校除く） ※教育実習は、本学連携協定の山県市で行うか、出身の地元で行うかどちらかを選択します。介護体験の施設場所は県の割り振りに従って、決めます。	1年 前期 後期 / 2年 前期 後期 / 3年 前期 後期 / 4年 前期 後期 中学校実習 試験 免許取得・卒業	文科省が定めている中・高等学校一種免許状取得に必要な単位を取得します。 ・「教科に関する科目（中20、高20単位）」 ＜国語＞ 日本語表現の基礎Ⅰ、日本文学概論、東洋古典学基礎、書道概論　など ＜英語＞ 英語学概論、英米文学史、英語文章表現Ⅰ、異文化コミュニケーション　など ※書道に関しては、書道に関わる単位を取得 ※情報に関しては、情報に関わる単位を取得 ・「教科又は教職に関する科目（中8、高16単位）」 人権教育、道徳教育の研究　など	就職に際し、それぞれの自治体が実施する「教員採用試験」を受験します。	実習費 25,000円	・各県の中・高等学校教諭 ・教育に関わる企業 ・塾講師 【卒業生の就職先】 岐阜県、静岡県	

岐阜女子大学

文化創造学科　初等教育学専攻（子ども発達専修・学校教育専修）「資格取得」のための手引き（大学での取得資格）

※副専門をアーカイブ専修にした場合の例です。
書道・国語専修、観光専修を副専門にする場合はご相談ください。

	資格	資格概要・副専門「アーカイブ専修」で育てる人材	取得方法	タイムスケジュール（授業／実習・体験学習／対策講座） 1年 前期 後期　2年 前期 後期　3年 前期 後期　4年 前期 後期	カリキュラム（単位）	試験	費用	就職先	学生の様子
アーカイブ専修（副専門）	学校図書館司書教諭	小・中・高等学校に設置される学校図書館において、学校教育に必要な資料を収集・保存して、児童又は生徒及び教員の利用に供することによって教育課程の展開に寄与するとともに、児童または生徒の健全な教養を育成することを目的とする専門職に従事する教諭です。	本学の学校図書館司書教諭課程に関する科目の単位（必修10単位）を修得します。また、小・中・高等学校の教諭免許状のいずれかを取得。（卒業後、講習実施大学へ一括申請し、学校図書館司書教諭講習の修了証書を受けます。）	3年 前期 後期 → 4年 前期 後期 → 資格取得・卒業	必修科目（10単位） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用	なし	課程履修費 10,000円	・学校図書館	
	デジタル・アーキビスト	デジタル・アーキビストは、総合的な文化情報の創造、保護、管理、流通利用を担当できる専門的職員です。今後、博物館、図書館、教育界、企業などでの活躍が期待されています。 ☆岐阜女子大学はデジタル・アーキビストの養成機関として東海地方の大学で唯一認定されています！	日本デジタル・アーキビスト資格認定機構が定める科目の単位（必修分野22単位、選択分野12単位）を履修し、デジタル・アーキビスト資格認定試験に合格することが必要です。	1年 前期 後期 → 3年 前期 後期 試験 試験 → 資格取得・卒業 3・4年次2回のチャンスがあります	必修科目 ・デジタルアーキビスト概論 ・マルチメディア ・デジタルアーカイブ　ほか 必修科目（演習） ・マルチメディア演習 ・情報記録検索演習 ・メタ情報処理演習 選択科目	有り 受験料 10,000円 （本学での一括申請）	課程履修費 副専門 10,000円 上記以外 30,000円	・博物館 ・図書館 ・教育界 ・企業等	
	図書館司書	司書は、図書館法で規定された図書館において、図書資料の収集、整理、保管、レファレンスなどのサービスに従事する図書館で働く専門的職員で国家資格です。	図書館法施行規則に定める科目の単位必修13科目22単位、選択2科目以上2単位以上計24単位以上を履修し、本学を卒業することが必要です。	1年 前期 後期 → 3年 前期 後期 → 資格取得・卒業	必修科目 ・生涯学習概論 ・図書館概論 ・図書館制度・経営論 ・図書館サービス概論　ほか 選択科目 ・図書・図書館史 ・図書館施設論	なし	課程履修費 副専門 10,000円 上記以外 30,000円	・図書館	
	学芸員	博物館学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究などを行う、「博物館法」に定められた博物館で活躍する専門的職員で国家資格です。	博物館法施行規則に定める科目の単位9科目19単位以上および選択科目8単位以上を履修し、本学を卒業することが必要です。	1年 前期 後期 → 4年 前期 後期 → 資格取得・卒業 （博物館実習）	必修科目 ・生涯学習概論 ・博物館概論 ・博物館経営論 ・博物館資料論 ・博物館実習 ・博物館情報・メディア論　ほか 選択科目 ・アーカイブ系、文化系、民俗系	なし	課程履修費 副専門 10,000円 上記以外 30,000円	・博物館	

初等教育学専攻の学びの特色

体系的な教員養成プログラム ～EGG（Enjoy　Global　Growing up）プラン～

1年次より理論と現場実習を繰り返し学ぶ、「理論と実践を往還」した学びの体系で、専門力を高めます。

実力ある教員をめざす体験活動

学んだ知識をホンモノにする専攻の2大活動
・工夫、思考、協働で成し遂げる稲作活動
・工夫、表現、創意のミュージカル上演活動
ほかに「一年次からの学校体験」・「学校ボランティア」

理論学習	体験学習
1年次　教育者・保育者の基礎的な理論を学びます。	1年次　小学校、保育所、幼稚園体験学習を行います。
2年次　教育・保育内容を幅広く理解し、子どもを理解する力を身につけます。	2年次　2回目の小学校体験学習、田おこしから始める米作り活動。
3年次　教育・保育に関する方法や教材作成の力を身につけます。	3年次　遠地、小規模校での学校体験学習。地域の子どもと保護者を動かすおやつ作り体験。
4年次　これまでの学びを集大成し、自らの教育・保育を創造する力を身につけます。	4年次　目的をもっての学校ボランティア活動。
	1～4年次　海外教育視察研修（任意）を行い、教育・保育観を広めます。

主専門・副専門制度 ～"専門＋α"の力を身につけた教員の育成～

○学校図書館司書教諭
○デジタル・アーキビスト
○図書館司書
○学芸員
○高等学校教諭一種免許状（情報）

教員免許状・保育士資格の他に上記の資格取得をすることで、**＋αの専門的知識・技能**を身につけ活躍の場が広がります。

主専門：教員・保育士
副専門：アーカイブ専修

例）小学校教員 ＋「デジタル・アーキビスト」
＝ICTに強い教員

女性の活躍を支援する教職コースを開設 ～女性活躍支援教職コース～

社会が求める、子どもの「学び」と「育ち」を支える女性の養成をします。

幼稚園教諭免許・保育士資格に加えて**「心理学」「体を育む食育」「安全・安心の保育」**等，高次な専門性を養うカリキュラムで学びます。そのことにより，就職口が広汎に広げられます。

「大学院科目早期履修制度（5年コース）」 ～「専修免許状」取得へ～

教員免許状は10年毎に更新していく制度が設けられているように、教員は学び続けること、そして持っている免許状も上進（一種免許状を専修免許状にする）していくことが求められています。

本学では、変わりつつある教員免許制度にいち早く対応した「大学院科目早期履修制度」があります。大学4年次に、大学院科目を10単位（5科目）まで修得することができる制度です。そのことにより、大学卒業後に大学院に入学することで、「専修免許状」を取得し、大学院を1年間で修了することができます。

一種免許状：大学（4年間）＋専修免許状：大学院（1年間）
5年間で「専修免許状」取得
（1年間で大学院修了）